（様式２－②）

委 託 業 務 等 成 績 評 定 表

【 工 事 管 理 業 務 】

令和　　年　　月　　日

受注者名：　　評定点： 100 点

事務所名：

委託業務等名			
業務場所		年度	
業務概要			
契約金額	当初：	最終：	
履行期間	当初：	最終：	
完了年月日			
完了検査年月日			
契約相手方住所			
契約相手方氏名			
管理技術者氏名			
照査技術者氏名			
現場代理人氏名			
主任技術者氏名			
担当技術者氏名①			
担当技術者氏名②			
担当技術者氏名③			
主任監督（調査）員所属・職氏名			㊞
総括監督（調査）員所属・職氏名			㊞
検査員所属・職氏名			㊞

評価項目		主任監督等評定点	総括監督等評定点	検査員評定点	業務評定（注１）
専門技術力	目的と内容の理解	6.0	—	—	6
	的確な履行	36.0	—	—	36
	業務目的の達成度	15.0	—	3.0	18
管理技術力	業務実施体制の的確性	6.0	—	6.0	12
	打ち合わせの理解度	6.0	—	—	6
	指揮系統の迅速性、確実性	7.0	7.0	—	14
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	4.0	4.0	—	8
①小計（注３）		80.0	11.0	9.0	100
②業務執行に係る過失に伴う減点		—	0.0	—	0
③事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）		—	—	—	0
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	0
⑤その他　　（		—	—	—	0
総合評定点＝①＋②＋③＋④＋⑤		—	—	—	100

所見		
主任監督（調査）員	総括監督（調査）員	検査員

注）１．各評価項目の「業務評定」は、小数第二位を四捨五入して表示している。
２．「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。
３．「業務評定」の小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

（別表②）

項 目 別 評 定 表

評価項目	細別	業務評定 （評定点／満点）
専門技術力	目的と内容の理解	6.0 点 ／ 6.0 点
	的確な履行	36.0 点 ／ 36.0 点
	業務目的の達成度	18.0 点 ／ 18.0 点
管理技術力	業務実施体制の的確性	12.0 点 ／ 12.0 点
	打ち合わせの理解度	6.0 点 ／ 6.0 点
	指揮系統の迅速性、確実性	14.0 点 ／ 14.0 点
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	8.0 点 ／ 8.0 点
評定点の小計（注）		100.0 点 ／ 100.0 点
業務執行に係る過失に伴う減点		0 点
事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）		0 点
瑕疵修補又は損害賠償による減点		0 点
その他 （ ）		0 点
総合評定点		100 点 ／ 100 点

注） 評定点の小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

（様式３）　　第　　号

令和　　年　　月　　日

0

0　　様

奈良県広域水道企業団〇〇事務所

所長

委託業務等成績評定点通知書　【工事管理業務】

貴社が受注した下記の委託業務等について、委託業務等成績評定要領に基づき評定した結果を下記のとおり通知します。

なお、評定結果に疑問があるときは、当職に対しその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して１４日（「休日」を含む。）以内に書面（様式４）により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面の郵送により行います。

記

１　契約年度　　令和　0　年度

委託業務等名　　0

２　業務場所　　0

３　工期　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

４　完了検査年月日　　令和　　年　　月　　日

５　成績評定点　　100 点（別表のとおり）

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び本件についての問い合わせ先は次のとおりです。

（所属の　郵便番号、住所、担当課、係、電話番号）

（様式４）

令和　　年　　月　　日

奈良県広域水道企業団〇〇事務所
所長　　あて

委託業務等成績評定点についての説明請求書

対象業務受注者　名
代表者　名

令和〇〇年〇月〇日付け〇第〇号で通知のあった委託業務等成績評定点通知書の内容について、疑問があるため、説明していただきたく請求します。

（添付書類：委託業務等成績評定点通知書の写し）

１．細目別評定点の評価項目〇〇〇、細別〇〇〇の評定点について疑問があるので、説明願いたい。

注意事項：　細目別評定点の評価項目、細別を明記したうえで、疑問点を具体的に記載して下さい。

（様式５）　　第　　号

令和　　年　　月　　日

0

0　　様

奈良県広域水道企業団〇〇事務所

所長

委託業務等成績評定点に係る説明書（回答）

令和　　年　　月　　日付けで貴社から説明を求められた評定内容について、下記のとおり回答します。

記

１　委託業務等名・業務番号　　令和　0　年度

0

２　疑問に対する説明

評定者別評定点一覧表

0

評価項目			細別	(5) 工事管理業務			
				主任調査員	総括調査員	検査員	評定点合計
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解	6.0			60.0
		的確な履行	法令・技術基準の知識	12.0			
			業務内容についての判断	12.0			
			関係者とのコミュニケーション	12.0			
		業務目的の達成度	必要事項の記載	12.0			
			的確なとりまとめ	3.0		3.0	
		評定者別評定点		① 57.0		③ 3.0	
	管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	6.0		6.0	32.0
		打ち合わせの理解度	打ち合わせの理解度	6.0			
		指揮系統の迅速性、確実性	指揮系統の迅速性、確実性	7.0	7.0		
		評定者別評定点		① 19.0	② 7.0	③ 6.0	
	取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	4.0	4.0		8.0
		評定者別評定点		① 4.0	② 4.0		
	計			④ 80.0	④ 11.0	④ 9.0	④ 100
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				0		
	中立性、公平性に係る過失				0		
	守秘性に係る過失				0		
	小計				⑤ 0		⑤ 0
合計				④＋⑤＝			⑥ 100
総合評定点の算定				事故等による減点		⑦	
				瑕疵修補又は損害賠償による減点		⑧	
				その他（ ）		⑨	
				総合評定点（⑥＋⑦＋⑧＋⑨＝）		⑩	100

適用評定表

成績評定表種別	適用業務類型
（5）工事管理業務	・工事管理・品質検査業務　　・調査設計資料整理業務　　等
（6）積算技術業務	・積算技術業務　　等

採点表①
（５）工事管理業務　　主任監督（調査）員用
委託業務等名：０　　受注者名：０

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0 / 0.8 / 0.6 / 0.4 / 劣 0.2		評定点	評価細目
専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨を十分に理解しているか？	6	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	6.0	☑ 当該業務の目的、内容が理解されていた。
							☑ 業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。
							☑ 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。
							☑ 提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。（担当路線・河川等の地域特性など）
	的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	12	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	12.0	☑ 業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。
							☑ 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。
							☑ 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。
							☑ 業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
		業務内容についての判断は的確か？	12	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0 1 ⇒ 得点率0.2 2 ⇒ 得点率0.4 3 ⇒ 得点率0.6 4 ⇒ 得点率0.8 5 ⇒ 得点率1.0	1.0	12.0	☑ 業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。
							☑ 業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。
							☑ 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
							☑ 業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分に満足できる解決が図られていた。
							☑ 業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
		関係者とのコミュニケーションは適切か？	12	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	12.0	☑ 日々の業務内容を調査（監督）職員に報告するなど常に連絡を密にしていた。
							☑ 緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、調査（監督）職員に分かりやすく伝えられた。
							☑ 現場での問題点などを迅速に調査（監督）職員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。
							☑ 関係者（工事請負業者等）との対話を心がけ、トラブルがなかった。
	業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	12	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	12.0	☑ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。
							☑ 調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。
							☑ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。
							☑ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。
		業務に求められる的確な取りまとめがされているか？	3	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	3.0	☑ 業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。
							☑ 業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。
							☑ 業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。
							☑ 業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
専門技術力計			57	①		57.0	

採点表②
（５）工事管理業務　　主任監督（調査）員用
委託業務等名：０　　受注者名：０

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0 / 0.8 / 0.6 / 0.4 / 0.2 劣		評定点	評価細目
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	6	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	6.0	☑ 業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。
							☑ 当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。
							☑ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。
							☑ 履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
	打ち合わせの理解度	発注者との打ち合わせは適切か？	6	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.6 2 ⇒ 得点率1.0	1.0	6.0	☑ 打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。
							☑ 受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。
	指揮系統の迅速性、確実性	情報伝達の基本は守られているか？	7	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0 1 ⇒ 得点率0.2 2 ⇒ 得点率0.4 3 ⇒ 得点率0.6 4 ⇒ 得点率0.8 5 ⇒ 得点率1.0	1.0	7.0	☑ 関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。
							☑ 情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。
							☑ 当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。
							☑ 問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
							☑ 担当技術者への技術的関与が的確であった。
管理技術力計			19	①		19.0	
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	4	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0 1 ⇒ 得点率0.2 2 ⇒ 得点率0.4 3 ⇒ 得点率0.6 4 ⇒ 得点率0.8 5 ⇒ 得点率1.0	1.0	4.0	☑ 管理技術者、担当技術者として、無責任な姿勢は見られず、発注者を支援する立場としてふさわしい対応をとった。
							☑ 打合せにおいて、発注者側の視点から確認・解決すべき事項を見逃さなかった。
							☑ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合は、発注者を支援する立場として問い合わせや確認が迅速になされた。
							☑ 発注者を支援する立場として、関係者に対する対応が適切でるとともに、必要な報告・調整が遅滞なく実施された。
							☑ 業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。
取組姿勢計			4	①		4.0	

採点表
（５）工事管理業務　　総括監督（調査）員用
委託業務等名：０　　受注者名：０

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0 / 0.8 / 0.6 / 0.4 / 劣 0.2		評定点	評価細目
管理技術力	指揮系統の迅速性、確実性	指揮系統の迅速性、確実性	7	左記評価項目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。	1.0	7.0	☑ 指示系統の迅速性が確保されている。
							☑ 指示系統が系統どおり確実に実施されている。
							☑ 情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。
							☑ 問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
							☑ 関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。
管理技術力計			7	②		7.0	
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	4	左記評価項目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。	1.0	4.0	☑ 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
							☑ 当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。
							☑ 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。
							☑ 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。
							☐ その他（内容：
取組姿勢計			4	②		4.0	
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		評価項目チェック数１つ毎に３点減点			☐ 業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。
							☐ 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。
							☐ 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。
							☐ 業務実施体制に問題があった。
							☐ その他（内容：
		中立性、公平性に係る過失		評価項目チェック数１つ毎に３点減点（チェックは１つまで）			☐ 中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。
							☐ その他（内容：
		守秘性に係る過失		評価項目チェック数１つ毎に３点減点（チェックは１つまで）			☐ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。
							☐ その他（内容：
	小計			⑤		0	

採点表
（５）工事管理業務　　検査員用
委託業務等名：０　　受注者名：０

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0 / 0.8 / 0.6 / 0.4 / 0.2 劣		評定点	評価細目
専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる的確な取りまとめがされているか？	3	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	3.0	☑ 業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。
							☑ 業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。
							☑ 業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。
							☑ 業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
専門技術力計			3	③		3.0	
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	6	評価項目チェック数 0 ⇒ 得点率0.2 1 ⇒ 得点率0.4 2 ⇒ 得点率0.6 3 ⇒ 得点率0.8 4 ⇒ 得点率1.0	1.0	6.0	☑ 業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。
							☑ 当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。
							☑ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。
							☑ 履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
管理技術力計			6	③		6.0	